



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和5年11月10日（金） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
広報課	管理広聴係	堀 込 中 村	内線 2132 直通 058-272-1118 FAX 058-278-2506

第46回県政世論調査結果について

このたび「第46回県政世論調査」の結果を取りまとめましたので、お知らせします。

1 調査の概要

(1) 調査の目的

県民意識の把握とともに、県行政に対する県民の関心、満足度等を調査し、県政推進の基礎資料とする。

(2) 調査の経緯

昭和42年から実施、今回46回目

※昭和42年～昭和61年：毎年実施、昭和63年～平成18年：隔年実施、平成20年～：毎年実施

(3) 調査項目

15問

(4) 調査時期

令和5年7月3日～7月26日

(5) 調査の設計

・調査対象 県内に居住する満18歳以上の男女個人

・標本数 3,000人

・抽出方法 層化二段無作為抽出法

※県内をブロックごとに分類し（層化）、各層に調査地点を人口に応じ比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して（二段）地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うもの。

・調査方法 郵送法・オンライン調査法の併用（オンラインはR3から実施）

・有効回答数、回答率

実施年度	標本数	回答数	回答率	有効回答数のうち オンライン回答数・割合
第46回（令和5年度）	3,000	1,758	58.6%	416・23.7%
第45回（令和4年度）	3,000	1,616	53.9%	434・26.9%

2 結果の概要

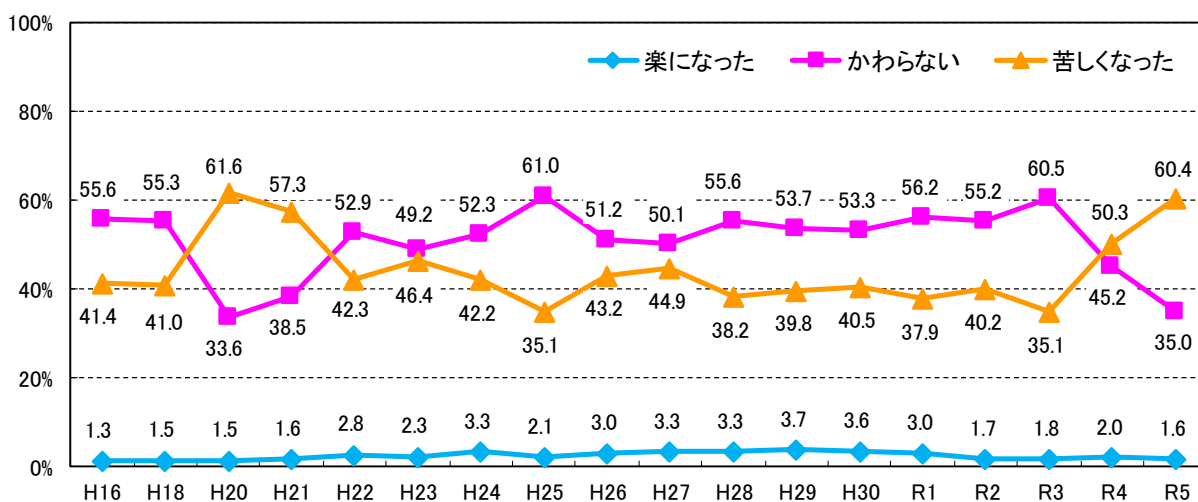
1 暮らしについて

1. 暮らし向きや暮らしの満足度 <問1、2>

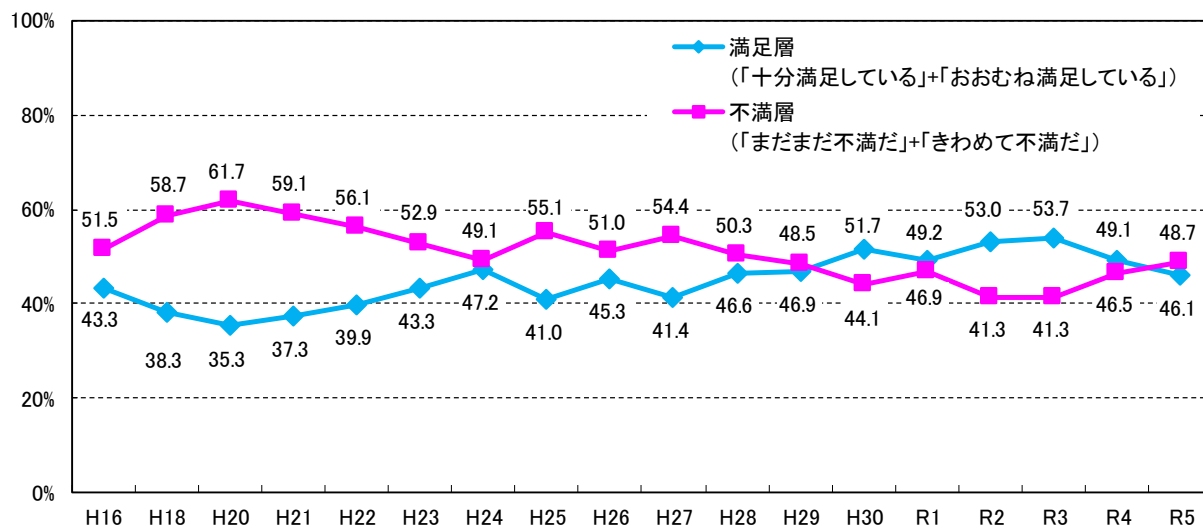
暮らし向きは「苦しくなった」が6割を占め、暮らし全般の満足度は「不満層」が増加し、6年ぶりに「満足層」を上回った

- ・家庭の暮らし向きは、「苦しくなった」が60.4%（前年に比べて10.1ポイント増加）、「楽になった」が1.6%（前年に比べて0.4ポイント減少）、「かわらない」が35.0%（前年に比べて10.2ポイント減少）となっている。
- ・暮らし全般の満足度は、「十分満足している」と「おおむね満足している」をあわせた「満足層」が46.1%（前年に比べて3.0ポイント減少）、「まだまだ不満だ」と「きわめて不満だ」をあわせた「不満層」が48.7%（前年に比べて2.2ポイント増加）となり、6年ぶりに「不満層」が「満足層」を上回った。

◆暮らし向き



◆暮らし全般の満足度



2. 暮らしの中で感じる不安や今後重視したいこと <問3、4>

暮らしの中で感じる悩みや不安の主な要因は、「健康・体力」が最も高い。今後重視していききたいことも同じく「健康・体力」が前年に続き最も高く、6割を超えている

- ・暮らしの中で感じる悩みや不安の主な要因は、「健康・体力」が66.2%（前年に比べて1.6ポイント増加）、次いで「収入・貯蓄」が62.7%（前年に比べて2.3ポイント減少）となっている。
- ・今後の暮らしの中で重視していききたいことは、「健康・体力づくり」が64.3%と前年に続き最も高く、次いで「家計の安定・充実」（53.0%）となっている。

◆暮らしで感じる悩みや不安

順	項目	R5	R4 (順)	前年比
1	健康・体力	66.2%	64.6% (2)	1.6
2	収入・貯蓄	62.7%	65.0% (1)	▲2.3
3	仕事	24.5%	28.2% (3)	▲3.7

◆今後重視していききたいこと

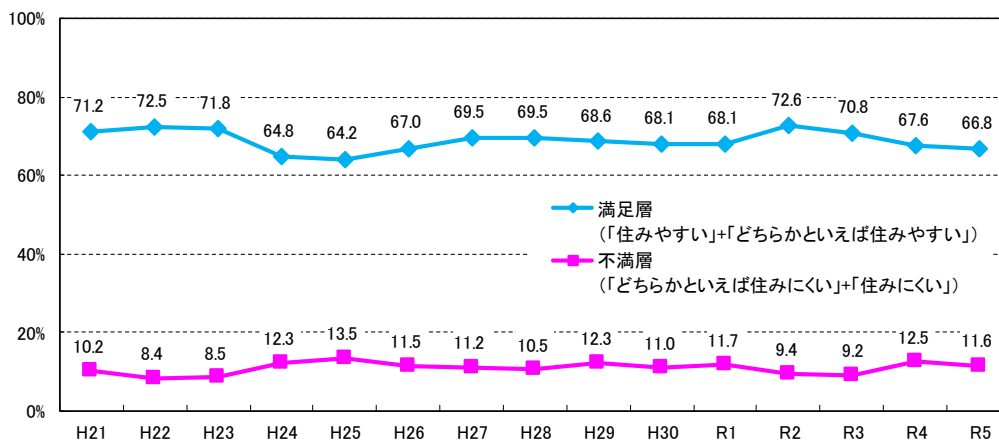
順	項目	R5	R4 (順)	前年比
1	健康・体力づくり	64.3%	64.4% (1)	▲0.1
2	家計の安定・充実	53.0%	56.1% (2)	▲3.1
3	老後の生活への準備	43.9%	40.1% (3)	3.8

3. 住んでいる地域の住みやすさ、岐阜県での定住傾向 <問6、7>

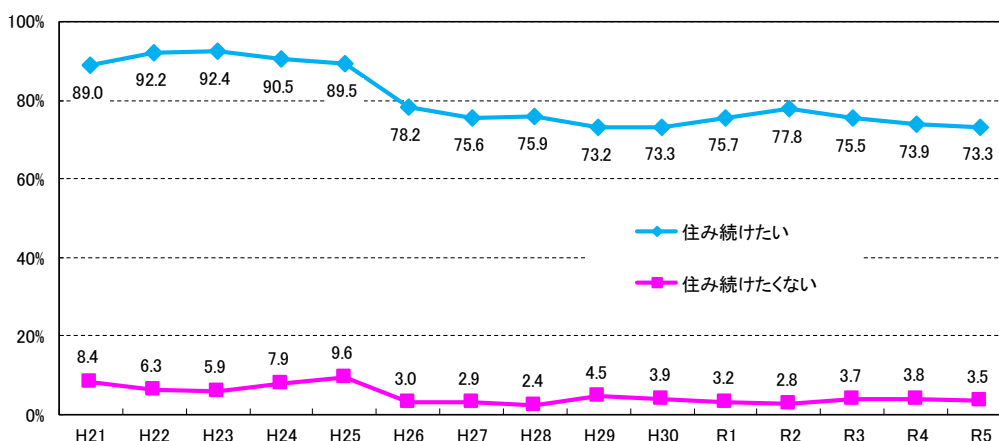
住みやすさの評価は、前年に続き約7割が「住みやすい」と感じており、4人に3人が「岐阜県に住み続けたい」としている

- ・現居住地が「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」をあわせた「満足層」が66.8%（前年に比べて0.8ポイント減少）、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」をあわせた「不満層」が11.6%（前年に比べて0.9ポイント減少）となっている。
- ・「岐阜県に住み続けたい」が73.3%と引き続き高い水準となっている。

◆住みやすさ



◆定住志向



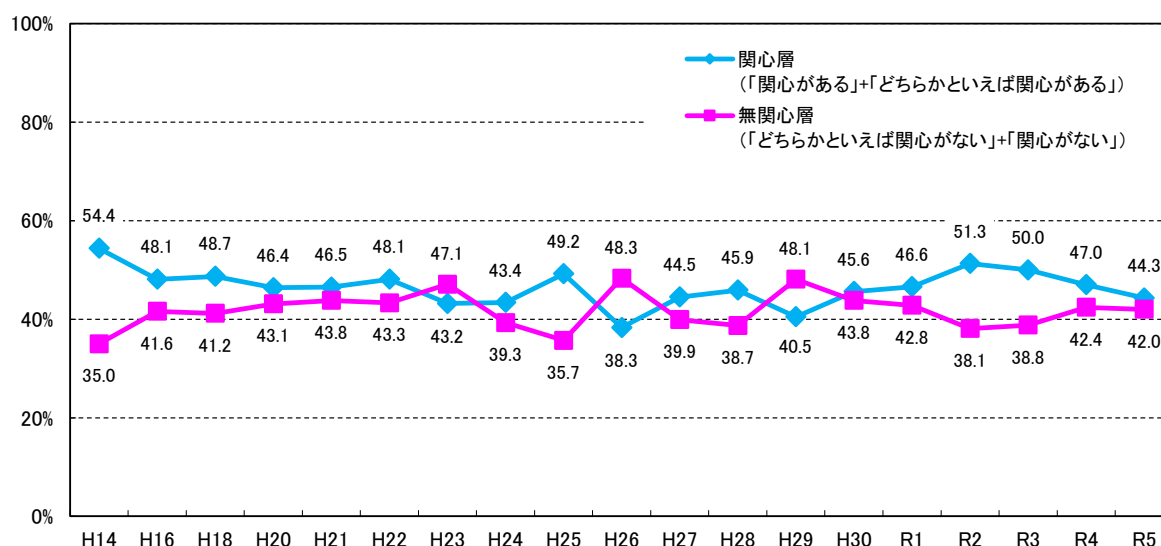
2 県の取組み全般について

4. 県事業への関心の有無 <問 9、9-2>

県事業への関心は、前年に比べ減少したものの6年連続で「関心層」が「無関心層」を上回っている

- ・ 県事業に対しては、「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」をあわせた「関心層」が44.3%（前年に比べて2.7ポイント減少）、「どちらかといえば関心がない」と「関心がない」をあわせた「無関心層」が42.0%（前年に比べて0.4ポイント減少）となり、6年連続で「関心層」が「無関心層」を上回っている。
- ・ 関心がない理由は、「県の施設を利用したり、県の仕事に接する機会が少ないから」が33.2%と前年に続き最も高くなっている。

◆県事業への関心の有無



◆県事業に関心がない理由

順	項目	R5	R4 (順)	前年比
1	県の施設を利用したり、県の仕事に接する機会が少ないから	33.2%	41.5% (1)	▲8.3
2	自分たちの意見が反映されるとは思えないから	24.5%	16.5% (3)	8.0
3	県がどのような仕事をしているのか知らないから	21.0%	24.3% (2)	▲3.3

5. 県の取組み姿勢について <問 10>

県の取組みで、よくやっていると思う分野は「防災対策」、努力が足りないと思う分野は「若者の県内定着」が前年に続き最も高くなっている

- ・ 県の取組みでよくやっていると思う分野は、「防災対策」(24.2%)、「道路整備・維持管理」(14.3%)、「地域医療の確保」(14.2%)の順となっている。
- ・ 県の取組みで努力が足りないと思う分野は、「若者の県内定着」(19.0%)、「少子化対策」(17.5%)、「公共交通の充実」(16.7%)の順となっている。

◆県の取組みでよくやっていると思う分野、努力が足りないと思う分野

よくやっている					努力が足りない				
順	項目	R5	R4 (順)	前年比	順	項目	R5	R4 (順)	前年比
1	防災対策	24.2%	28.0% (1)	▲3.8	1	若者の県内定着	19.0%	21.0% (1)	▲2.0
2	道路整備・維持管理	14.3%	18.3% (2)	▲4.0	2	少子化対策	17.5%	18.0% (3)	▲0.5
3	地域医療の確保	14.2%	17.6% (4)	▲3.4	3	公共交通の充実	16.7%	18.6% (2)	▲1.9
4	防犯・交通安全対策	13.6%	14.7% (6)	▲1.1	4	子育て支援	15.9%	15.6% (4)	0.3
5	高齢者福祉	13.4%	17.8% (3)	▲4.4	5	高齢者福祉	15.4%	13.8% (5)	1.6

6. 重点的に進めるべきだと思う分野 <問 11>

今後、県が重点的に進めるべきだと思う分野は「高齢者福祉」、「防災対策」、「子育て支援」の順となっている

・重点的に進めるべきだと思う分野は、「高齢者福祉」(33.7%)、「防災対策」(27.2%)、「子育て支援」(26.8%)の順となっている。

◆重点的に進めるべきだと思う分野

順	項目	R5	R4 (順)	前年比
1	高齢者福祉	33.7%	31.2% (1)	2.5
2	防災対策	27.2%	31.2% (1)	▲4.0
3	子育て支援	26.8%	27.1% (3)	▲0.3
4	少子化対策	24.1%	24.0% (5)	0.1
5	地域医療の確保	21.4%	24.5% (4)	▲3.1